

GTI地域開発フォーラム及び北東アジア経済協力フォーラム

ERINA 調査研究部主任研究員 新井洋史

中国、モンゴル、韓国、ロシアの4カ国は、北東アジアの地域開発を推進することを目的として、GTI (Greater Tumen Initiative、大図們江イニシアチブ) という政府間国際協力を推進している。このGTIは、2011年9月27日に韓国の江原道平昌(ピョンチャン)で、「GTI地域開発フォーラム」と「GTI北東アジア経済協力フォーラム」という2

つの公開フォーラムを開催した。これらは、GTIの最高意思決定機関である諮問委員会 (Consultative Committee) の開催 (9月28日) に合わせて、民間や地方政府 (自治体) を交えて議論する場として開催されたものである。

当日配布された参加者リストによれば約250名が参加した。ERINAからは、杉本侃副所長と筆者が参加した。



■地域開発フォーラム

午前中には、「地域開発フォーラム (Local Development Forum)」が開催された。このフォーラムは、2010年9月に長春で開催されたのに続き、2回目であった。主眼の一つは、地方政府レベルでの協力の強化に向けた議論を進めることである。そこで、セッション1では、各国の地方政府、具体的には吉林省延辺朝鮮族自治州、モンゴル中央県、江原道、ロシア沿海地方及び鳥取県の代表から発表が行われた。それぞれの発言の内容は、自らの取組を紹介することが中心であったが、モデレーターの江原大学のク・チュンモ教授は、GTIの枠組みの中で「北東アジア地方間協力

委員会 (NEA Local Cooperation Committee)」が近く設立される予定となっていることを紹介し、地方政府レベルでの協力を訴えた。なお、GTIウェブサイトによれば、9月28日の諮問委員会において実際に同委員会の設立が承認され、地方政府も参加した合同セッションが開催されたことが報告されている。

セッション2は、主要分野における協力というテーマ設定であった。まず、参考事例として欧州における越境協力の紹介があった。また、国際協力機構 (JICA) 東・中央アジア部の北野尚宏部長は、北東アジア各国におけるJICA協力案件を紹介しつつ、かつて実施した吉林省の地域発展に関する調査の結果が現在の長吉図開発開放先導区に反映されていることなどを指摘した。その後、交通、エネルギー、投資 (モンゴル)、観光の各分野についての報告があった。この中で、ERINAの杉本副所長は、欧州における天然ガスパイプラインが旧ソ連と旧西ドイツなどの欧州諸国との安定的な関係作りに大きく貢献したことなどを示して、北東アジアでの同様の取組の必要性を訴えた。

■北東アジア経済協力フォーラム

午後には、「北東アジア経済協力フォーラム (Northeast Asia Economic Cooperation Forum)」が開催された。セッション1のタイトルは、「移行期のGTI：図們江地域から北東アジアへ」というものであった。GTIは、かつての図們江地域開発プログラム (TRADP) を衣替えする形で2005年から新スタートを切った。その際に対象地域を拡大し、モンゴルや韓国の一部を取り込んだ北東アジアのかなり広い部分をカバーするようになった。しかしながら、「図們江」の名称を残したままであることから、依然として図們江流域の限られた地域の協力プログラムであるとのイメージから脱し切れていない。そういった問題意識がセッションタイトルに表れているように感じられた。本セッションでは、メンバー国である中国、モンゴルの政府関係者から改めて協力のコミットメントがあったほか、国連ア

ジア太平洋経済社会委員会及びアジア開発銀行からも支援の意向が示された。

セッション2では、各国の研究者が発表を行った。それぞれの視点で、北東アジア各国で進んでいる地域開発プロジェクトや地域協力を分析し、今後のGTIの活動等について提言を行った。例えば、江原発展研究院のキム・ジョンミン院長は、2012年のAPEC首脳会議 (ロシア・ウラジオストク市) などを活用して、パイプラインや鉄道などの大規模インフラ整備に関する共通のビジョンを持つようにすべきだと主張した。

■所感

各国の中央政府、地方政府、国際機関、研究者等、参加者の幅が広がっているとの印象を持った。ただし、民間企業関係者の参加は少なかった。この点は、会議の性格上、やむを得ないのかもしれないが、残念な点である。

GTI自体には日本政府は参加していないが、地方政府間協力の枠組みには、日本の地方自治体の参加が期待されている。今回は、鳥取県副知事が参加して、地域発展フォーラムの第1セッションで発言した。会議の合間にGTI事務局の話聞いてみると、鳥取県以外に、新潟県、秋田県、富山県などの参加を期待しているようであった。

さまざまなセッションにおいて、GTI事務局及び活動費の拡充を求める意見が複数の発言者からなされた。GTIでは、外部コンサルタントにGTIの活動のレビュー作業を委託し、その結果が2011年9月にまとまっている。その結果なども踏まえながら、メンバー国による検討が進むものと考えられる。

会議が開催された江原道は、かねてから北東アジア地域協力を熱心であり、今回も知事を先頭に積極的な姿勢をアピールしていた。同時に、2018年にピョンチャンで開催されることが決まった冬季オリンピックも強くアピールしていた。世界的イベントを契機に、国際的知名度を高めていきたいという熱意が印象に残った。